子育て広場

子育て支援課からのお知らせ

子育て支援課
金ケ崎町西根鑓水 53
☎ 44-4611　FAX 44-4337
e-mail : kosodate@town.kanegasaki.iwate.jp

11月は児童虐待防止推進月間です

家族や学校、地域など社会全般において、児童虐待問題に対する深い関心と理解が得られるよう、各地で積極的な広報・啓発活動が行われます。

町でも、虐待防止推進月間に合わせ、役場庁舎1階エントランスホールにオレンジリボンツリーを設置予定です。

児童虐待防止の象徴であるオレンジリボンは、子どもたちの明るい未来を表すシンボルマークです。

「児童虐待かも」と思ったら、
すぐにお電話ください。

▶児童相談所全国共通ダイヤル
☎１８９（いちはやく）

～子育て応援ガイド～

10 月は里親月間です！

ー里親制度のこと、知っていますか？ー

里親制度の説明や児童の受託経験のある里親の体験談を役場庁舎 1 階エントランスホールに掲示します。

里親制度のことを詳しく知りたいなど里親に興味のある人はぜひご覧ください。

■期間　10 月 29 日㈮まで
■場所　役場庁舎 1 階エントランスホール
問　岩手県一関児童相談所（☎ 0191-21-0560、一関市竹山町 5-28）

図書館だより

図書館からのお知らせ

町立図書館
金ケ崎町西根西地蔵野 5
☎ 41-1900　FAX 44-5661
開館時間：10：00 ～ 18：00
※開館日・時間変更の場合あり

☆展示リニューアル

特別展示　「桑島法子（くわしまほうこ）　朗読夜」

■期間　令和 4 年 3 月 30 日㈬まで
■場所　特設コーナー

町出身の声優である桑島法子さんがライフワークとする、宮沢賢治作品を朗読する「朗読夜」は、2021 年に 20 周年を迎えました。

特別展示では、桑島さんの経歴と共に、「朗読夜」でよく読まれる作品「永訣の朝」、過去の公演などを紹介し、「朗読夜」についての魅力を伝えます。

また、町民から桑島さんへのメッセージを展示しているほか、新たなメッセージも募集中です。

information

▶「エミリィの調べ」に伴う休館（11 月 6 日）

エミリィ・ディキンスン資料センター 20 周年「エミリィの調べ～詩と歌でつむぐエミリィと賢治～」開催に伴い、11 月 6 日は臨時休館となります。

なお、イベント参加する場合は整理券が必要です（整理券配布は終了しました）。

▶「ヘラルボニーの物語」（展示リニューアル）

■期間　令和 4 年 3 月 30 日㈬まで
■内容　町出身の松田兄弟が設立し大きな話題を呼んでいる「株式会社ヘラルボニー」。不思議な社名の秘密や二人が幼少期に感じたこと、ご家族の想いなどに焦点を当て、展示をリニューアルしました。

▶図書館ホームページがリニューアルされましたのでぜひご覧ください。

QR コード

交番だより

警察署からの安心安全に関わる情報を皆さんにお届けします。

問 金ケ崎交番（☎ 44- 5227）
永岡駐在所（☎ 44- 3310）

夕暮れ時の交通事故を防ぎましょう

■歩行者の皆さんへ

反射材用品などの活用

▼夕暮れ時の外出は明るい色の服を着用し、反射材やLEDライトなどを足や腕などの動きのある部分に身に付け、周囲に自分の存在をしっかりアピールしましょう。

止まる・見る・待つ＋意思表示の実践

▼道路を横断する前に、必ず止まりましょう。
▼車が来てないか、左右をよく見ましょう。
▼車が近づいていたら、通り過ぎるまで待ちましょう。
▼横断する時は、手をあげるなどして、ドライバーに意思表示をしましょう。

■ドライバーの皆さんへ

ライトの早め点灯

▼ライトの早め点灯は、他の車両や歩行者などに自車の存在を知らせる効果があります。暗くなる前の午後4時にはライトを点灯しましょう。
▼夜間は原則、上向きライト（ハイビーム）で、危険を早期に発見しましょう。

横断歩道・チェック・ストップ運動

▼横断歩道の手前では、歩行者がいないか確認（チェック）し、横断しようとしている歩行者や横断中の歩行者がいる場合は必ず停止（ストップ）しましょう。

ふるさとへの風だより

消えてゆく里山

在京金ケ崎人会
副会長
小澤（おざわ）　忠義（ただよし）さん
東京都在住、西根出身

作家の司馬遼太郎さんは、作品のなかで江戸時代末期の南多摩の地を「初夏になれば、草むらという草むらが蝮（まむし）臭くなるような農村」と描いている。山林と畑の多いこの地に住んで60年近く、マムシに逢った人の話は聞くことはあるが自分は見かけたことはない。

南側を、地元では南山と呼んでいる多摩の丘陵が東西に長くはしり、北側の多摩川とに囲まれたこの街は急速に開発が進み、農地が消えマンションが建ち、目の前の丘には新しい住宅が多数建てられている。

それに続いて、嘗（かつ）ては小高い山並みだった丘をひな壇のように五段に造成し、最上部には戸建ての住宅が35戸こちらに背を向けてびっしり並んで建てられているのが見える。そして現在は二段目の住宅が建ち始め、一段目は土地の造成工事が進んでいる。その奥には、有名なゴルフ場があり、プロ野球の練習球場が建設中である。雨の時には開発中の山の斜面にブルーシートが張られているが、下のほうに住む人達は、大雨のたびに心配しているようだ。

今後、子ども達が炭焼きの体験実習をしている森も消えてしまうのではと危惧している今日この頃である。

在京金ケ崎人会からのお知らせ

11月28日開催予定の「金ケ崎人の集い」は中止となりました。

問　事務局（金澤志年）
▶☎・FAX
044-711-2310
▶mail
skshoukai@gmail.com